

各務鎌吉 実業家。海上・船舶保険業務の最高指導者で、大正・昭和前期のわが国の代表的財界人の1人。

かがみけんきち

明治維新・1868 = 美濃国方県郡(岐阜市)に、各務省三の次男として生まれ、
東京に移住。

明治6年政変 1873 = 5歳 :

西南戦争・1877 = 9歳 :

明治14年政変 1881 = 13歳 :

秩父事件・1884 = 16歳 : 東京府中学校を卒業し、高等商業学校へ進学。

帝国大学始・1886 = 18歳 :

初の対等条約 1888 = 20歳 : 卒業。

帝国憲法発布 1889 = 21歳 :

京都府立商業学校、大阪府立商品陳列所勤務を経て、
大津事件・1891 = 23歳 : (同業各社との競争に加え、前年、イギリスに進出して始めた船舶保険の成績が思わしくなく、業績が悪化していた) **三菱系の東京海上保険会社に入る。**

日清戦争始・1894 = 26歳 :

日清戦争終・1895 = 27歳 : **社命をうけてロンドンに至り、保険業務を研究して、会社再建の成案を得て一旦帰朝、再度渡英してロンドンの総代理店業務をウイリス商会に委ね、帰国して本店営業部長となり、半額減資を断行し、同社の業績を飛躍的に改善する。**

以後、平生浜三郎と協力して死に至るまで業務を主宰、同社を世界最大の規模に発展させる。

性狷介、みずから信ずるところあつく、独断専行の気風があったが、また部下を愛する一面もあった。

日露戦争始・1904 = 36歳 :

日露戦争終・1905 = 37歳 :

満鉄発足・1906 = 38歳 : **東京海上保険総支配人、**

明治天皇没・1912 = 44歳 :

大正政変・1913 = 45歳 :

ロシア革命・1917 = 49歳 : **東京海上専務取締役、**

大暴落・1920 = 52歳 : 翌年にかけて欧米を巡視。

原敬首相暗殺 1921 = 53歳 :

水平社結成・1922 = 54歳 : **明治火災保険の会長、**

関東大震災・1923 = 55歳 : **{スタンダード=インシュアランス=オブ=ニューヨーク}を設立し、海外進出を果たし、**

護憲三派圧勝 1924 = 56歳 : 日本郵船取締役、

治安維持法・1925 = 57歳 : **東京海上会長になるとともに、三菱海上火災会長にもなり、本来は一人一業主義であったが、昭和に入ってからのは三菱系の巨頭として財界に重きをなし、各種審議会の委員をつとめ、**

世界恐慌・1929 = 61歳 : **日本郵船社長になると、世界恐慌に処して経営の合理化を行い、大阪商船との提携を成功させる。**

海軍軍縮条約 1930 = 62歳 : 貴族院議員に勅選される。

満州事変・1931 = 63歳 : 欧米視察、

芥川直木賞始 1935 = 67歳 : **日本郵船会長となり、岡田内閣で成立した内閣審議会に、三井の池田成彬と財界を代表して委員となる。**

この時期電力問題にも関与、外債処理問題、電力連盟の成立に参加、電力国営の際電力審議会委員、のち日本発送電総裁に擬せられた。

日中戦争始・1937 = 69歳 :

第二次大戦始 1939 = 71歳 : **没した。**